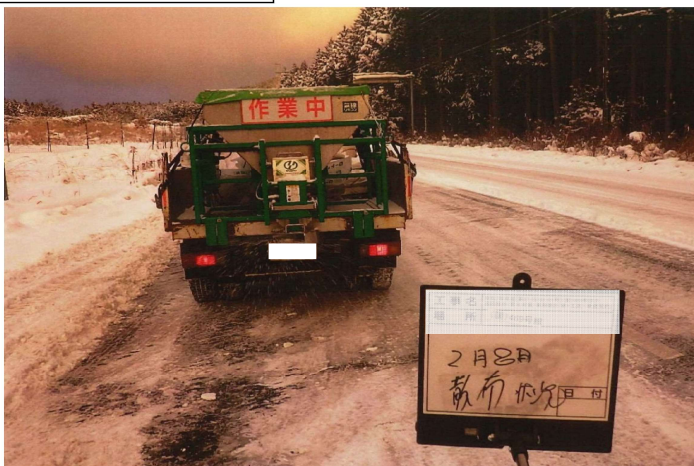


事故事例その2

2/8 18時(事故箇所近傍)道路状況



【2/8昼間時 凍結防止剤散布状況】



【相手方車両損傷状況】



【事故概要】

凍結防止剤の散布作業中、作業車両がアイスバーンの路面に乗ってしまい、スタッドレスタイヤを装着していたがブレーキが利かなかった。その結果、前方の停車車両に衝突し、相手車両のハッチバックが凹み、リアガラスが割れる損害を与えた（停車車両との車間距離は約10m、作業車の速度は約20km）。

【問題点】

凍結防止剤散布中における路面の凍結状態の認識が十分でなかった。

【対策】

- ・ 縦断勾配のきつい山間部や夜間等での作業時は、路面がアイスバーンとなることを想定し、事前にタイヤチェーンを装着する。
- ・ 作業時の制限速度及び車間距離を定めるなど、アイスバーンへの対応を作業員で共有する。